

H011 医療統計学実習

前期 MPH 選択

授業日時:	火曜日 3, 4 限
担当分野:	医療統計学分野
担当教員:	佐藤俊哉(科目責任者) 寒水孝司、山本倫生(臨床研究総合センターデータサイエンス部)
教室:	G 棟 3F 演習室
主担当教員連絡先:	佐藤俊哉 G 棟 3F 医療統計学 内線 4475 e-mail: sato.tosiya.4e(at)Kyoto-u.ac.jp
基礎・応用等レベル:	基礎から上級まで受講者のレベルに応じた課題を課します
先修・推奨科目等:	レポートの書き方、コア医療統計学

I. コースの概要

医療統計学実習では、医療統計学講義で学んだ医療統計の考え方を実際に目で見て、体験することを目的とします。医療統計学の理解を深めるためにはお勧めの実習です。統計ソフト JMP による簡単な集計、解析、プログラミングを実習します。実習のレポートはワープロソフト Word で作成してもらいます。図表などは表計算ソフト Excel を使って作成します。プレゼンテーションはプレゼンテーションソフト PowerPoint を用いて行います。これらのソフトの使い方も学びます。

統計ソフト JMP は医学研究科でライセンス契約しており、医学研究科の大学院生であればどなたでも利用できます。医学研究科ホームページの、

<http://www.med.kyoto-u.ac.jp/software/JMP/>

から「JMP 利用申請書」をダウンロードして、内容をよく読み、実習で使用するノートパソコンに JMP をダウンロード・インストールし、医学部情報担当に利用申請をして JMP を使える準備をして実習に参加してください。みなさんの個人のパソコンにもインストールできますので、ノートパソコンをお持ちの方はインストールして実習に持ってきてください。

II. 学習到達目標(このコース終了時までには習得が期待できること)

- ・ ワープロを使ってすばらしいレポートを書く
- ・ 表計算ソフトを使って集計し、すばらしい図表を作成する
- ・ プレゼンテーションソフトを使ってすばらしい発表をする
- ・ 統計ソフトを使ってすばらしい集計と簡単な統計計算を行う

III. 教育・学習方法

- ・ 少人数の班に分かれた実習形式

注 この実習は 9 月に発表があります

IV. 学習資源

必須ソフト: JMP

必須テキスト: 毎回実習の手引きを配布します

推奨テキスト: 特になし

V. 学生に対する評価方法

レポートとプレゼンテーション

- ・ 毎回レポートを提出してもらいます
- ・ 班ごとのプレゼンテーション
- ・ 個人ごとのプレゼンテーション(9月)

VI. その他メッセージ

- ・ レポートを書いたことのない人は、レポートの書き方に関する書籍などを読んでおいてください
- ・ 医療統計学実習を履修していないと後期「解析計画実習」は履修できません
- ・ 演習室のスペースが32名までですので、社会健康医学系専攻の履修者を優先します
- ・ 毎年スペース以上の履修希望者がいます。例年、2~3名が途中から「参加できなくなった」といってくるので、参加できなくなる可能性のある人は遠慮してください
- ・ 途中からの参加は認めません、必ず初回から出席してください

人間健康科学系専攻学生の受講可否: 若干名(事前に連絡してください)

医科学修士、医学博士課程の受講希望者: 事前に連絡してください

予定・内容

第1回	4月8日	イントロダクション、表計算ソフトを使う
第2回	4月15日	統計ソフト JMP を使う
第3回	4月22日	グループ実習 1: テーマ選択・データ収集
	4月29日	昭和の日
	5月6日	振替休日
第4回	5月13日	グループ実習 2: データ収集
第5回	5月20日	グループ実習 3: 集計、解析
第6回	5月27日	グループ実習 4: プレゼンテーション
第7回	6月3日	ランダムにわけてみよう
第8回	6月10日	リスク比、リスク差、オッズ比の不思議
第9回	6月17日	割合の差の検定と帰無仮説のほんとうの意味
第10回	6月24日	「95%信頼区間は95%の確率で真の値を含む」わけではない
第11回	7月1日	2×2表を解析する
	7月8日	休講
第12回	7月15日	サンプルサイズを計算していかに多くの対象者が必要かをしる
第13回	7月22日	ランダムサンプリングしてみる
第14回	9月16日	発表会 1
第15回	9月17日	発表会 2
